



ふるえがお



古江小 HP QR コード



令和7年10月20日

松江市立古江小学校学校だより（文責 校長：青山 巧）

松江市連合音楽会 トップバッターの大役を担いました

8～10日に開催された松江市連合音楽会に、本校は例年通り4年生が参加しました。今年は3日目午前の部の1番目でしたので、オープニングセレモニーの時からステージに上がり、松江市の歌を歌うという大役も担いました。

この日に向けて、1学期には選曲とパートや楽器を決め、音楽の授業だけでなく昼休みにも自主練習を重ねてきました。前日には校内で1・2年の児童と教職員を前にプレ演奏会を行い、合唱「友達だから」をきれいな歌声で歌い上げ、合奏「オペラ座の怪人」を迫力のある演奏で見ている人の心を震わせました。当日の発表でも、ただでさえ始めての大きなステージに立つことに加え、トップバッターという緊張感の中、学校での音楽にあわせて自然に体を動かし、練習以上の歌声と演奏を披露しました。見に来ていただいた保護者や昨年度まで在籍された釋先生、他の学校の先生方からも「4年生とは思えないくらい素晴らしい発表でした。」とたくさん声をかけていただきました。当日の発表の様子は地元ケーブルテレビで、11月29日（土）20時に放映される予定です。

24日のひまわり発表会でも観客の心を揺さぶる素敵な合唱・演奏を体育館に響かせてくれると思います。是非足をお運びください。



写真はプレ演奏会の様子です。4年生は指揮者の小泉先生をしっかりと見つめて真剣な表情です。かっこよかったです。

聴いていた1,2年生もしっかり感想を伝えることができました。

インフルエンザの感染

7日に校内で初めて感染者が確認されてから、その週の週末には6年生は10人以上の感染者が確認されたため、繰り上げての下校という措置をしました。学校医にも相談をした上で、3連休になることから、学級閉鎖の措置をとらずに様子を見ていくこととしたところ、少しずつ収まっています。例年より早い動きを見せており、予防接種もしていないと思いますので、今一度感染予防（睡眠、食事、運動、手洗い、うがい、消毒等）を各家庭でもお声がけください。

校外学習や外部講師による授業のひとこま

今年も積極的に校外に出かけているふるえっ子。暑さも和らぎ、古江の教育資源、松江市や島根県の教育資源に積極的にふれあっています。ふるさと教育として、地域のひと・もの・ことにどっぷりと浸り、ふるさとのよさを心の奥に熾火として静かに残していくことにつながっていくと思います。そして、それは何かの時に、燃え上がる炎となってくれることを信じています。



1年：虫とり



2年：公民館訪問



3年：しじみ漁体験



4年：スーパーヘルンさん講座



5年：稲刈り



6年：地層見学

10月1～2日に出雲商業高校：中村先生の異校種体験を本校で受け入れました。普段は高校生に商業科の科目を教えていらっしゃるのので、いろいろなことが教師主導で進められているそうです。小学校では、個人差が大きい実態の中で、個々のペースにあわせた熟度別の授業やこどもの発言や気づきから授業を組み立てて行くこと、特別支援学級の自立活動では同じ活動でもねらいは一人ひとり違うことなど、たくさんのことに気づき、参考になったとおっしゃっていただきました。また、初めて会った自分にこどもたちから元気のいいあいさつや笑顔で話しかけてくれることにも感動されていました。

せっかくの機会でしたので、6年生に授業を行ってもらい、キャリア教育や消費者教育を通して、販売価格はどのように設定されているのかをこどもたちも考えることができました。

本校としても得るものが多い2日間でした。

17日に県教委主催の「しまね子ども絆づくりサミット」がくにびきメッセで開催され、本校を代表してにこにこ生活委員会のこどもたちが発表しました。この事業は、県内の小・中・高・特別支援学校の児童生徒が、他人を思いやることの大切さや、学校で楽しく過ごすための方法について、自校の実践を通して、それぞれ発表し、話し合うものです。

委員会のこどもたち全員で話し合い、古江小で取り組んできたことを模造紙にまとめ、4～6年生にリハーサルを通してアドバイスをもらいながら最終原稿を完成させました。当日は自ら参加したいと意思表示をした代表4名が参加しました。

この事業後、校内での人権集会でも発表の場を確保しています。県内のいろいろな学校の人と意見を交わし、どのようにブラッシュアップをした発表になるのか今からとても楽しみです。